

## 教科別の指導「算数」 学習指導案

平成27年12月1日(火) 第5校時  
場 所 教 室  
指導者 T1、T2、T3、T4

### 1 題材名 「買い物しよう」

### 2 題材について

#### (1) 学級及び児童の実態

##### 途中省略

数に関する実態では、どの児童も、2桁の繰り上がりのある足し算や、繰り下がりのある引き算の筆算がだいたいできる。しかし、一度は具体物を使って計算の意味を理解し、筆算を使って計算ができるようになった児童でも、時間の経過とともに、言葉と数の操作が一致しない場合や、具体物の操作では集中がとぎれて1対1対応が難しい場合があり、実生活と計算の学習が結び付かないことがある。そのため算数では、計算と具体物の操作を繰り返し行う計画を立て、取り組んでいる。

また、金銭を利用した買い物をはじめとする生活経験についても、様々であり、家庭とも連携を図りながら、学習を進めている。

#### (2) 題材について

本題材「買い物しよう」は、毎年繰り返し行っている学習である。どの児童も興味を持ち、生活にすぐに役立つものとして意欲的に取り組んでいる。また、この時期に生活単元学習において同名の「買い物しよう」という単元を設定し、実際にコンビニエンスストアやスーパーマーケット、ドーナツショップ、自動販売機で飲み物や電車の切符を購入するなど、様々な買い物体験をしたり、小遣い帳を付ける学習を行ったりしている。さらに自立活動では、買い物場面での言葉のやり取りを覚えたり、硬貨やレシートを財布から出し入れする等の指先の巧緻性を高めたりする学習を行っている。

しかし、事前に様々な学習をしても、校外に出て実際に店のレジで支払う時には、財布の中に入っている硬貨を全部出して店員に渡してしまう様子が見られる。

そこで、教科別の指導「算数」において、数字で表示された金額を理解し、その金額の硬貨を出すことができるようにさせたい。買い物練習の中で、硬貨の金種の弁別や、等価交換、硬貨の組み合わせによる支払いの仕方を理解させ、定着を図りたい。その際、1位数の金額から始め、だんだん数を増やしても扱えるようにしていく。

また、2位数の加減算の時にも、硬貨を利用することにより、繰り上がり、繰り下がり  
の計算の理解を深めていけるようにする。

今まで買い物経験の少なかった児童が、生活単元学習「買い物しよう」の学習に入

ってから、保護者と一緒に品物の金額を確かめたり、支払いをしたりしたという声が聞かれるようになった。家族と出かけた時に、一人で切符を買ったという児童もいる。

今回の算数の学習で、学級の児童が考えた「みなみマート」という店でじっくりと金銭を操作する学習を通して、数の概念や位を意識して計算をする力を向上させ、これまで以上に般化につなげていきたい。

### (3) 指導・支援について

買い物の場面では、相手と関わる必要がある。生活単元学習「買い物をしよう」では、友だちの買い物をする姿から支払いの仕方を学び、自分も買い物をしたいという意欲につながってきている。年上の児童が年下の児童と関わりながら一緒に学ぶことで、進んで学習に参加するようになり、学び合いが見られるようにもなってきた。

そこで、本題材では個別の学習だけでなく、二クラス合同で課題別の小集団をつくり、学習する場面を設定する。

相手の意見を共有し関わるのが苦手な児童には、対教員だけでなく児童同士で学び、認め合うことで、さらに学習への関心を高め、意欲的に算数の学習に参加できるようにさせていきたい。

お金を数える場面では、金種がばらばらに置かれていると金額がわからなくなってしまう児童には、位を書いたワークシートを利用したり、金種ごとに整然と並べて数えたりするところから、今回の学習を始めたい。

音声言語による説明では理解しにくい児童や、短期記憶に課題のある児童には、視覚的にとらえられるよう、具体物や写真などを利用し、実際に操作する活動を取り入れることで支援としていきたい。

また、児童全員が学習後の達成感が味わえるよう、個々の児童の努力や成果を教員が表（がんばり表）を利用して伝える。全員で振り返る場面を設定することで、次時の活動意欲を高めていきたい。

## 3 本題材における児童の実態

	児童	「数と計算」に関する実態	買い物に関する実態
	A	3位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算ができるようになった。100以上の数と具体物の一致が難しいことがある。	生活の中では、ほとんど買い物をする機会がない。学級での買い物学習では、意欲的に参加している。5円硬貨や50円硬貨を利用して値段の通りの金額を出すことができる。
	B	3位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算ができる。数唱では、10以上になると具体物と1対1対応が難しいことがある。言葉で言った数字（「せんにじゅう」）などを書くことが難しい。	こだわりがあり、買いたいものが限定されているが、買い物には大変興味をもっている。3位数までの金額どおりに硬貨を出すことができる。50円硬貨も、必要に応じ利用することができる。
	C	2位数までの繰り上がりのある加法と1位数の繰り下がりのある減法の筆算ができ	家庭でも、一人で買い物をしており経験が豊かである。千円札と百円硬貨の等価関係を理解

	る。かけ算九九に興味があり、かけ算の意味が理解できる。学習したことを、進んで生活に結び付けている。	している。5円硬貨や50円硬貨を使って買い物ができる。 相手の言った3位数までの金額を、正しく硬貨で出すこともできる。
D	2位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算ができる。集中がとぎれ、10以上になると具体物との1対1対応が難しいことがある。	生活の中で、好きな菓子を保護者と買う経験がある。学級での買い物にもたいへん興味をもっている。硬貨の弁別はできる。1円硬貨と10円硬貨の等価関係を理解している。
E	3位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算ができる。2位数までのかけ算の筆算もできるようになってきている。位取りの復習中であり、「ひゃくよん」を1004と書くなど、空位のある数字の書き表し方の理解が不十分である。	生活の中では、買い物に行く経験が少ない。学級での校外学習では、一人で券売機を利用して切符を買うことができ、商店でも好きな菓子を買うことができる。 10円硬貨と100円硬貨を使った等価関係を理解している。
F	3位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算ができる。2位数同士のかけ算や余りのあるわり算もできる。位の意味や、文章問題の意味を理解し計算に結び付ける場合、個別に支援が必要。加法の計算で、電卓を利用できる。	家庭では、保護者と買い物をしている。 言葉でのコミュニケーションは難しいが、買い物にたいへん興味を持っている。店で好きな物を選び、品物の値段と同じ金額の硬貨を出して、支払いをすることができる。
G	2位数までの繰り上がりのある加法ができる。繰り下がりのある減法の意味も理解できる。1000までの数の意味が理解できる。	現在、他市のフリースクールに通っているため、学級の校外学習には、参加していないが、買い物に興味があり、以前学級で学習をしたときは、楽しそうにしていた。
H	3位数までの繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の筆算が概ねできる。言葉で言った数字（「にひゃくご」など）を数字で書く場合、位取り表を利用するとできる。	好きな菓子を自分で選ぶことができ、商品の金額と同じ額を、硬貨を使って支払うことができる。買い物に興味があり、様々な商品の値段を進んで読むことができる。50円玉を必要に応じ、利用することができる。

#### 4 題材の目標

##### (1) 共通目標

- ・ 値段に合わせて代金を出すことができる。
- ・ 買った品物の値段を数字で表したり合計やおつりの計算をしたりすることができる。

##### (2) 個人目標

###### ○ A、B、D、E、F児

- ・ 位取りシートを使って、3位数までの聞いた値段を数字に表すことができる。
- ・ 6種の硬貨で999円までの金額を書き、支払うことができる。  
(B、D児は、位取りシートを使用する)
- ・ 金額を見て値段を答えることができる。
- ・ おつりを計算して答えることができる。  
(D児は2位数まで E、F児は3位数まで)

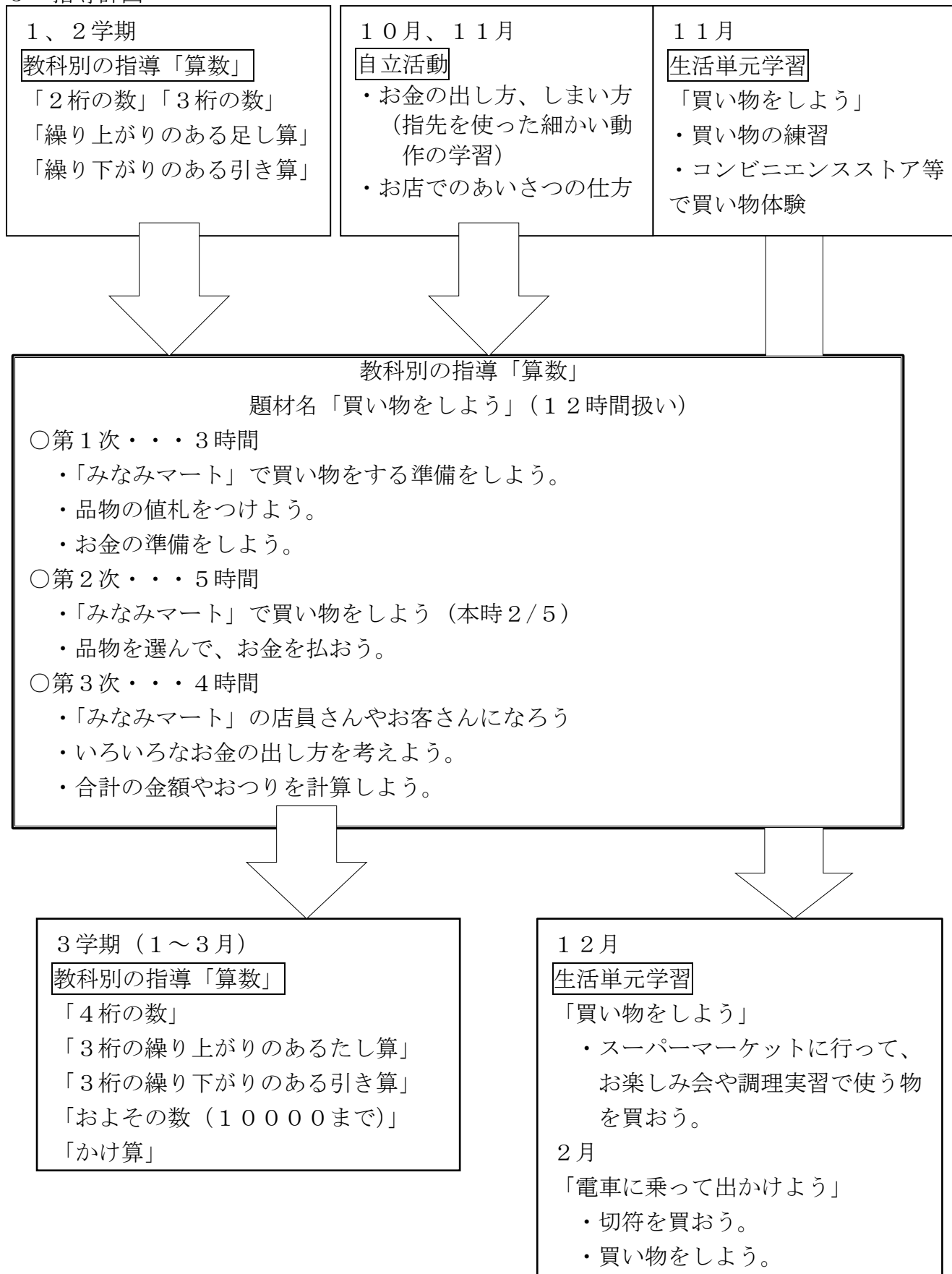
○ C、D児

- ・ 3位数までの聞いた値段を数字に表すことができる。
- ・ 6種の硬貨と千円札で金額を書き、支払うことができる。  
(C児は1000円までの金額)
- ・ 数個の品物の合計金額を出すことができる。
- ・ 金額を見て値段を答えることができる。
- ・ おつりの計算ができる。(C児は2位数まで)
- ・ 百円硬貨や五百円硬貨を出しておつりを計算してもらうことができる。  
(H児は千円札も使用)

○ G児

- ・ 3位数までの聞いた値段を数字に表すことができる。
- ・ 6種の硬貨と999円までの金額を書き、支払うことができる。
- ・ 二つの品物の合計金額を出すことができる。
- ・ 位取りシートを使って、金額を見て値段を答えることができる。
- ・ おつりを計算して答えることができる。(2位数まで)

## 5 指導計画



## 6 本時の学習

### (1) 共通目標

- ・ 品物の代金を書くことができる。
- ・ 品物の値段と同じ金額を、複数の硬貨を用い、支払うことができる。

### (2) 個人目標

児 童	本 時 の 目 標
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 405円等の金額を硬貨で出して、書くことができる。</li><li>・ 自分で品物を選び、担当者と代金の硬貨を選ぶことができる。</li></ul>
B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 407円、108円等の金額を、硬貨を使って支払うことができる。</li><li>・ 買い物に興味を持ち、複数の硬貨を利用して支払いをすることができる。</li></ul>
C	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 908円等の金額を硬貨で出し、書くことができる。</li><li>・ 進んで品物を選び、複数の硬貨を使って支払いをすることができる。</li></ul>
D	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 168円、109円等の金額を5円硬貨を使用して出して、書くことができる。</li><li>・ 複数の硬貨を、落ち着いて1枚ずつ数えることができる。</li></ul>
E	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 403円等の金額の硬貨を出し、書くことができる。</li><li>・ 一人で品物を選び、進んで複数の硬貨で支払いをすることができる。</li></ul>
F	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5円硬貨や50円硬貨も使って、品物の金額を出し、書くことができる。</li><li>・ 品物を選び、正しく値段を読んで、支払いができる。</li></ul>
G	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 106円等、5円硬貨を使って出し、書くことができる。</li><li>・ 一人で品物を選び、進んで複数の硬貨で支払いをすることができる。</li></ul>
H	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2つの品物の合計を計算し、空位のある金額を出して書くことができる。</li><li>・ 集中して1枚ずつ硬貨を数えて確認し、正しい金額を支払うことができる。</li></ul>

(3) 本時の展開 別紙参照

## 7 評価

### (1) 共通目標の評価

- ・ 品物の代金を書くことができたか。
- ・ 品物の値段と同じ金額を、複数の硬貨を用いて、支払うことができたか。

### (2) 個人目標の評価

児 童	本 時 の 評 価
A	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 405の金額を硬貨で出して、書くことができたか。</li><li>・ 自分で品物を選び、担当者と代金の硬貨を選ぶことができたか。</li></ul>
B	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 407円、108円等の金額を、硬貨を使って支払うことができる。</li><li>・ 買い物に興味を持ち、複数の硬貨を利用して支払いをすることができたか。</li></ul>
C	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 908円等の金額を硬貨で出して、書くことができたか。</li><li>・ 進んで品物を選び、複数の硬貨を使って支払いをすることができたか。</li></ul>
D	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 168円、109円等の金額を5円硬貨を使用して出し、書くことができたか。</li><li>・ 色々な硬貨を、落ち着いて1枚ずつ数えることができたか。</li></ul>
E	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 403円等の金額の硬貨を出し、書くことができたか。</li><li>・ 一人で品物を選び、進んで複数の硬貨で支払いをすることができたか。</li></ul>
F	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 5円硬貨や50円硬貨も使って、品物の金額を出し、書くことができたか。</li><li>・ 品物を選び、正しく値段を読んで、支払いができたか。</li></ul>
G	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 106円等、5円硬貨を使って出し、書くことができたか。</li><li>・ 一人で品物を選び、進んで複数の硬貨で支払いをすることができたか。</li></ul>
H	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2つの品物の合計を計算し、空位のある金額を出して書くことができたか。</li><li>・ 集中して1枚ずつ硬貨を数えて確認し、正しい金額を支払うことができたか。</li></ul>



8 教室配置図

